

事例 No.152

有功地区民生委員・児童委員協議会

《組織について》

委員数 31名（内 主任児童委員2名）

実働活動者数 31名

男性13名 女性18名

《組織の設立経緯》

- ① 「共育おもしろ運動会」の開催
民生委員児童委員の日 活動強化週間と定め、地域住民、関係機関、団体等と連携、共有しながら、共に育てる「共育活動」に取り組み、理解を深め信頼関係を築き、民生委員・児童委員チラシを配布して広報もしています。（H22年～）
- ② 注連縄づくり教室を開催している。（H15年～）

活動内容

- ① 毎月5月 地区内3小学校の児童、父兄、長寿会の皆様と「3世代交流」と題し「共育おもしろ運動会」を開催。ゲームに使用する道具は、すべて委員たち手作りのもので、得点を競い合う。3世代交流の中で、触れ合う地域の方々、子どもたちといきいきした一日を過ごす。
- ② 毎年12月第3土曜に地区内3小学校の子ども達に注連縄づくり教室を開催している。（H15年～）
委員手づくりの紙芝居で日本古来の伝統行事の由来、大切さを教えている。

工夫・問題点

- ① 各小学校の子どもセンターに声をかけて、参加する子どもたちを募集、引率当日も若い力で活気ある運動会となっている。怪我などしないように心がける。
ゲームの内容もいろいろ考えて、マンネリ化しないよう新しいゲームをしていく。
- ② 材料のもちわらが手に入りにくくなってきた。

活動予定

各小学校の子ども見守り活動をしながら、挨拶運動も行なっている。
地域住民誰もが安心して暮らせるよう、気軽に誰でも声をかけあって疎遠化している近所づきあいをなくしていきたい。

第5回

共育おもしろ運動会

H26,5,18 有功小学校で

これから始まるよ～



ラジオ体操で体をほぐして



カーリング(手製こまだよ～)



お手玉入れ



手製輪ゴムシューター